

事務事業実績測定調査

R5調書番号 520

事務事業名称	旧田中家鋳物民俗資料館管理運営事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	旧田中家鋳物民俗資料館条例、旧田中家鋳物民俗資料館条例施行規則、旧田中家鋳物民俗資料館条例使用料に関する規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	(資料館 展示) 地域を問わず全ての市民(歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人)			
	サブターゲット	生涯学習・社会教育の機会を求めている人			
	ターゲットが抱える課題	歴史や文化財への関心が薄く、資料館に行きたいという動機付けがされにくい。			
	ターゲットが抱える課題	立地条件が悪い上に駐車場がないため、来館しづらい。 伝統工芸を学べる場が少なく、学べる場の情報も少ない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人が、枚方の鋳物の歴史及び昔の暮らしについて理解を深める場所や機会として、広く周知された上、適切に提供されている。				
事業概要	所在地は、藤阪天神町5-1。 枚方上之町の田中家は古くから鋳物業を営み、江戸時代には真継家から独占的営業を許され、河内国惣官鋳物師として河内の鋳物師を統率し、梵鐘、鍋、釜などを鋳造していた。 本市は、田中氏から鋳物工場と主屋の寄贈を受け、藤阪天神町に移築復原し、昭和59年10月資料館として開館した。鋳物工場では鋳物の歴史、主屋では民俗文化財を展示している。 平成20年に、「鋳物づくり」等ができる工房をオープンした。体験工房では「鋳物づくり」、「彫金」や「七宝焼」などが体験できる主催講座を開催するほか、美術・工芸などの創作活動を行うサークル等に有償(一部減免あり)で工房及び付属設備の貸し出しを行っている。 平成29年度まで(公財)枚方市文化財研究調査会へ委託していた民俗文化財収集・整理作業については、平成29年度実績まで文化財保護管理事業としていたが、平成30年度に同会の解散に伴い事業統合し、同年度から当事業へ再編成した。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		枚方の鋳物の歴史及び昔の暮らしについて理解を深める場所や機会として、広く周知される。	資料館に市民等が来館する。	資料館を運営し、歴史・文化財への関心を高めるイベントを実施する。
指標設定	指標説明	来館者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式: 来館者アンケートにて「満足」と回答した人数/アンケート回答者数×100】	来館者数	イベント等の実施回数(延べ)
		単位 %	単位 人	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	80 80 80 80	10,000 10,000 10,000 10,000	27 27 27 27
	実績	88 82 87 89	3,874 4,213 6,285 6,777	15 23 29 25
達成度		111%	68%	93%

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		枚方の鋳物の歴史及び昔の暮らしについて理解を深める場所や機会として、広く周知される。	講座に市民等が参加する。				「鋳物づくり」、「彫金」や「七宝焼」などが体験できる講座を開催する。			
指標設定②	指標説明	来館者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式: 来館者アンケートにて「満足」と回答した人数／アンケート回答者数×100】	参加者数				講座等の実施回数(延べ)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値									
	達成度	111%	105%				88%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.70
再任用	0.40
任期付職員	0.75
会計年度任用職員	2.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,319	11,355	11,127		
	会計年度任用職員	10,500	6,481	5,732		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	21,819	17,836	16,859		
	物件費計	9,627	10,985	11,328	13,324	85.0%
	歳出計	31,446	28,821	28,187		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	45	68	62	170	
	市債	0	0	0	0	
	その他	629	1,342	1,316	1,556	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	674	1,410	1,378	1,726	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	8,953	9,575	9,950	11,598	

5. 総括的分析

総括的分析	来館者数は前年度比7.8%の増加となった。イベント・体験工房講座は、申込者数・満足度の高い成果を得られた。民俗文化財収集5件・1562点及び1揃、民俗文化財調査4件、資料調査2件、民俗調査延20日39件を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	祭礼行事及びだんじり調査を計画的に進めており、調査結果の取りまとめに着手する。また、津田の春日神社「提灯祭り」について、市登録民俗文化財(無形)の登録を目指し、各種調査及び記録に取り組む。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 521

事務事業名称	市史編さん年報発行事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市域、自分の住む地域、あるいは自分の家の歴史を知りたい、調べたい人。			
	サブターゲット	枚方の歴史に関する文章を作成したり、行政の過去の経過等を調べる必要の生じた庁内の部署・職員。			
	ターゲットが抱える課題	歴史資料を保存し、利用に対する要望に応える必要があるため。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が自分の住む地域の歴史を知ることで、郷土に対する愛着が醸成され、学生・研究者によって、本市の歴史研究の蓄積が進み、地域の歴史像がより豊かなものとなるとともに、本市の過去の写真や歴史に関する叙述がマスメディアや企業PR誌等に掲載され、市の魅力発信がなされている状態。				
事業概要	枚方市史年報をはじめ市史に関する刊行物の編集、歴史資料の収集・整理・保存を行い、また、市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えることで、市民の郷土史に対する理解を深め、市民文化の向上を図ることを目的として、歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		市民が自分の住む地域の歴史を知ることで、郷土に対する愛着が醸成され、学生・研究者によって、本市の歴史研究の蓄積が進む。				枚方市域、自分の住む地域、あるいは自分の家の歴史を知りたい市民が年報を読む。				枚方市史年報等を刊行する。							
指標設定	指標説明	レファレンス件数(枚方の歴史や史料に関する質問・照会のほか閲覧・複写及び貸出等の利用も含めた件数)				販売部数(市史等刊行物)				刊行部数							
	単位		件		単位		冊		単位		冊						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)		250	260	270	280	140	140	140	290	700	700	700	1,400		
		実績		219	269	224	223	138	185	108	97	700	700	700	1,700		
達成度		80%				33%				121%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.45
再任用	0.73
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.95
特別職非常勤	3.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,229	7,191	7,230		
	会計年度任用職員	3,535	2,577	2,667		
	特別職非常勤	1,204	1,204	1,204		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,968	10,972	11,101		
	物件費計	871	1,014	1,784	2,330	76.6%
歳出計		10,839	11,986	12,885		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	139	94	73	185	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	139	94	73	185	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		732	920	1,711	2,145	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナウイルス禍以降、インターネットでの情報収集(ホームページ、YouTube、SNS等)が定着しつつあり、直接の問い合わせは減少傾向にある。 令和5年度末には『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』を1000冊刊行した。引き続き市史年報等の発行を行うほか、ホームページなどでの情報発信を行っていく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地域社会の記憶装置としての役割を果たすためには、記録資料の収集・保存・活用といった従来の業務を継続する必要がある。今後もレファレンス機能を市民に広くアピールし、資料の利用を促進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 523

事務事業名称	特別史跡百済寺跡再整備事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004 (H16) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	文化財保護法、地方自治法、枚方市専門委員設置規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称	特別史跡百済寺跡再整備検討委員協議会				
事業対象	メインターゲット	百済寺跡や百済王氏、奈良時代の歴史に関心のある、史跡公園を利用する市民			
	サブターゲット	一般の史跡公園利用者や周辺に居住する市民、近隣市町の住民			
	ターゲットが抱える課題	整備から40年以上が経過し、老朽化・毀損が著しく、適切な遺構保存を図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	百済王氏の氏寺として、あるいは中央の官寺以外、地方の寺院としては異例ともいえる本格的伽藍配置をもつ古代寺院跡として広く認知されるとともに、当時の古代寺院の景観を体感できる歴史学習の場として広く市民等に利用される状態。				
事業概要	特別史跡百済寺跡は、昭和40年から42年の整備後、40年以上の歳月を経て各所の老朽化損壊変形が目立ち、表土の流失が著しい状態であることから、雨水流出抑制対策を含めた抜本的な遺構保存工事と合わせ、史跡公園として再整備を行う。再整備に当たっては、保存活用を図るための必要な調査及び資料の収集と史跡保全の指針を得るために専門委員で構成される特別史跡百済寺跡再整備検討委員協議会を設置し、百済寺跡の再整備に関する事項について調査審議する。 平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度までの間に基本計画の策定と基本設計を行う。 平成26年度に実施設計を行い、平成27年度から再整備工事に着手している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						古代寺院の景観を体感できる歴史学習の場として広く市民等に利用される。				雨水流出抑制対策を含めた抜本的な遺構保存工事と合わせ、史跡公園として再整備を行う。			
指標設定	指標説明	市民が利用可能な面積				増加することが良いとされる指標				当初予算額に対する補助金費消率 【算出式: 決算額/当初予算額×100】			
		単位				単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					15,768	19,103	19,602	20,072	100	100	100	100
	実績					15,768	18,450	18,450	18,828	100	100	100	100
達成度						94%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.65
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,500	5,078	5,132		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	67	48	57		
	人件費計	5,567	5,126	5,189		
歳入	物件費計	110,117	34,221	175,384	118,338	148.2%
	歳出計	115,684	39,347	180,573		
	国庫支出金	40,000	17,111	39,977	39,983	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	36,000	15,300	127,400	115,700	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	76,000	32,411	167,377	155,683	
一般財源（物件費に充当されるもの）		34,114	1,810	8,007	0	

5. 総括的分析

総括的分析	平成27年度から再整備工事を着手。 令和5年度は、計画に基づき築地堀の躯体部分や屋根工事を行い、築地堀を完成させた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度の公園整備完成に向け引き続き地域住民の理解と協力を得ながら、再整備事業に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 524

事務事業名称	文化財活用事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民の共有財産である文化財の公開等、啓発普及事業への理解と共感をもつ市民			
	サブターゲット	歴史や文化財に関心はあるが、啓発普及事業に触れる機会を知らない市民			
	ターゲットが抱える課題	地域の歴史や文化財関連に関する情報を知る機会や接触する場が限定され少ない。			
	ターゲットが抱える課題	さらに深い文化財関連の知識を得る機会等が少ない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、基金活用も含めた文化財の啓発普及により、郷土愛が育まれ次世代へ確実に継承される状態。				
事業概要	市内に点在する歴史文化遺産について、地域性や時代等によるまとまりを踏まえ、3つの「歴史回廊」を設定し文化財の活用を進める。有効に保存・活用を図るため、主に次の事業を行う。 ○歴史講座、歴史ウォーク(市内文化財めぐり等)○文化財の展示(輝きプラザきらら展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示)○発掘調査現地説明会○出土遺物復元作業見学会(土器に触れ合う機会)○特別史跡百済寺跡で創建時のAR映像の紹介○刊行物(文化財関係図書等)の発行など○出前講座○文化財説明板の建替・修繕○文化財防火デー(文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		文化財保護に対して、市民の理解と共感が深まる。				関心のある市民が事業に参加する。				啓発普及事業を実施する。				
指標設定	指標説明	受講者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式:受講者アンケートにて「満足」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				講座等の参加者数				講座等の実施件数(延べ)				
		単位		%		単位		人		単位		件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80	80	80	80	1,280	1,280	1,280	1,280	14	15	15	15
		実績	73	85	87	89	281	1,649	1,916	2,364	6	11	13	17
	達成度	111%				185%				113%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.95
再任用	0.27
任期付職員	0.35
会計年度任用職員	1.69
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,414	11,763	10,534		
	会計年度任用職員	5,834	6,370	5,617		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	20,248	18,133	16,151		
歳入	物件費計	2,430	3,077	5,951	6,624	89.8%
	歳出計	22,678	21,210	22,102		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,385	2,640	5,155	5,478	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,385	2,640	5,155	5,478	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,045	437	796	1,146	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方宿で開催した「まちかど歴史展示」の一環として実施した1日限定の展示会では600人程の来場があり、文化財を身近に感じることができたと好評を得た。百済寺跡を紹介するAR映像は大阪工業大学によるバージョンアップを行い百済寺跡築地塀復元工事見学会で披露したほか、実際に出土した土器を使った復元等整理作業の体験イベントや、旧田中家鋳物民俗資料館と市内の工場を巡る鋳物ツーリズム、枚方宿鍵屋資料館の別棟の国登録有形文化財登録を記念した見学会を開催するなど、多様な啓発活動を実施し、参加者の増加につながった。また、古文書講座も定員に達する申し込みがあり、アンケート結果も好評であった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	さらに展示ルームや本庁舎での遺物展示や発掘調査報告会・市民歴史講座の開催などこれまでの取り組みに加え、市民の文化財への理解、保護意識の醸成や市内外への啓発のため、鍵屋資料館の建物を利用したイベントやICT技術を活用した映像体験など効果的な普及啓発活動の手法の研究と実践を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 525

事務事業名称	文化財施設等維持管理事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	収蔵施設の維持管理を行い文化財の保存管理を行う職員及び職場			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	文化財を保存管理する文化財収蔵施設の老朽化が進行しており、適切な改善を施す必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、確実な文化財収蔵施設の維持管理を実施し、活用の機会拡大が図れるとともに、次世代へ確実に継承された状態。				
事業概要	貴重な文化財を保存管理するため、収蔵施設の維持管理を行う。蹉?東プレハブ文化財収蔵庫、元山田幼稚園施設文化財収蔵庫では、市内の発掘調査で出土した埋蔵文化財や市内で収集した民具などの文化財を収蔵している。山田分室では、市内発掘調査で出土した埋蔵文化財の復元等整理作業を行うと同時に一部を収蔵している。・蹉?東プレハブ文化財収蔵庫(翠香園町30、平成3年建築、延床面積129.6㎡)・元山田幼稚園施設文化財収蔵庫(甲斐田町1-27、昭和48年建築、延床面積408.06㎡)・山田分室(都丘町6-9、昭和60年建築、文化財課所管占有延床面積556.326㎡)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						維持管理を通じて、収蔵される文化財の適正な保存管理がなされる。				収蔵施設に必要な維持管理を実施する。					
指標設定	指標説明					点検に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額／当初予算額×100】				全収蔵施設の維持管理のために実施した消防点検など必要な点検の延べ回数					
			単位	%	単位	回									
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100	100	100	100	8	8	8	8
実績						47	78	54	78	8	8	8	8		
達成度						122%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.25
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,364	2,344	2,763		
	会計年度任用職員	1,783	1,003	831		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,147	3,347	3,594		
	物件費計	3,083	4,670	3,570	4,542	78.6%
歳出計		9,230	8,017	7,164		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	128	108	134	199	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	128	108	134	199	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,955	4,562	3,436	4,343	

5. 総括的分析

総括的分析	各施設の維持管理のため、警備委託、清掃委託、各種設備の保守点検委託を必要に応じて実施するとともに、日常的な建物の安全管理を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き施設の計画的な改修を行うとともに、施設の日常管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 526

事務事業名称	文化財調査事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	歴史的文化遺産が継承されることにより好影響を受ける市民・事業者			
	サブターゲット	歴史文化遺産の所有者			
	ターゲットが抱える課題	市域に所在する歴史文化遺産の文化財的な価値について総合的に分らない。			
	ターゲットが抱える課題	所有する歴史文化遺産について、未調査のものについては文化財的な価値が分ならず、保存管理の方針が分らない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	調査によって把握された市域の歴史文化遺産の価値について、適切に市民に還元することができる状態。				
事業概要	歴史文化遺産を随時調査し、その年代、美術的・歴史的価値を判断し、文化財としての価値を把握する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		文化財の価値を周知することにより、後世への継承につながる。	市域の歴史文化遺産について、美術的・歴史的価値が把握される。	市域に所在する歴史文化遺産の調査を計画する。
指標設定	指標説明	調査の実施により記録または報告に取りまとめた文化財の件数	歴史文化遺産の調査実績件数	計画した歴史文化遺産の調査件数
		単位 件	単位 件	単位 件
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2
	実績	4 2 2 1	10 2 2 1	4 2 2 1
達成度		50%	50%	50%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.45
再任用	0.00
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,729	3,125	4,031		
	会計年度任用職員	0	0	66		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,729	3,125	4,097		
	物件費計	10	72	0	343	0.0%
歳出計		1,739	3,197	4,097		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		10	72	0	343	

5. 総括的分析

総括的分析	以下の調査を実施した。 ・市登録有形文化財登録手続きに係る調査 1件(田能村直入関係資料)
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	歴史文化遺産について、調査対象を具体的に検討し調査を実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 527

事務事業名称	文化財保護管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化財課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民の共有財産である文化財への理解と共感をもつ市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	保存科学処理等計画的に行う文化財保護管理を、継続的に適正に行なう必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	安全・快適に広く市民利用に供するため、除草や竹間伐など適正で効率的な遺跡の維持管理が必要			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、文化財の保護管理が適切に実施された状態。				
事業概要	枚方市域に残された文化財(埋蔵文化財・民俗文化財)を将来に伝えるべく、適切に保護・保存するとともに、市民に対して文化財保護への理解と郷土への愛着を育むことを目的に、主に次の活動を行う。 ○茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉?東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等による保護管理○特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。○特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施○近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、管理計画に基づく管理○楠葉台場跡の適正な保存管理(令和2年度に事業統合)。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			文化財が適正に保存管理され、後世に残される。				各文化財に応じた必要な保護管理を行う。			
指標設定	指標説明		保護管理によって、滅失・毀損せずに翌年度に継承した文化財の件数(遺跡数+天然記念物+民俗1件で計上)				草刈や保存科学処理、保護管理等を実施した延べ回数(対象:遺跡+天然記念物+民俗への燻蒸処理は原則1回)			
			単位				単位			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
			11	11	11	11	18	17	17	17
		実績	11	11	11	11	18	17	17	17
達成度			100%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						楠葉台場跡を安全・快適に市民が利用できる。				楠葉台場跡の適正な保存管理を推進する。			
指標 設定 ②	指標説明					(定点観測による)利用延べ人数				除草の回数／年			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					200	220	240	260	6	7	6	6
	実績					26	87	81	100	7	7	7	7
	達成度					38%				117%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.65
再任用	0.00
任期付職員	0.05
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,325	5,292	5,371		
	会計年度任用職員	706	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,031	5,292	5,371		
	物件費計	21,718	20,510	23,115	23,626	97.8%
歳出計		27,749	25,802	28,486		
歳入	国庫支出金	1,589	258	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,589	258	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		20,129	20,252	23,115	23,626	

5. 総括的分析

総括的分析	文化財保存地及び楠葉台場跡の維持管理については、市民からの意見・要望への対応も行いながら問題解決を図った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	文化財保存地及び楠葉台場跡については、文化財保護および周辺住宅地の環境保全の観点からも適切かつ計画的に管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 528

事務事業名称	文化財保護審議会運営事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化財課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1994(H6)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称	文化財保護審議会				
事業対象	メインターゲット	市職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	各分野の専門的な知見が得られず、文化財を適切に保存・活用することが困難となる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各分野の専門家で構成される文化財保護審議会により文化財の保存と活用に関する重要事項について調査・審議が行われ、その答申を受けて、文化財が適切に保存・活用されている状態。				
事業概要	枚方市文化財保護条例の規定に基づき、文化財の保存と活用に関する重要事項について調査・審議するため、市の附属機関として、文化財保護審議会を設置している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値												
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.25
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	9.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1, 281	1, 424	2, 226		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	76	76	86		
		人件費計	1, 357	1, 500	2, 312		
	物件費計		0	10	19	76	25. 0%
	歳出計		1, 357	1, 510	2, 331		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			0	10	19	76	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年10月30日に審議会を開催し、令和4年度に実施した文化財の普及啓発に関する取り組みや今後の事業の方針、特別史跡百済寺跡再整備事業の進捗などについて報告したほか、市が所蔵する田能村直入の書画4作品の市登録文化財登録の適否について、専門的見地から意見をいただいた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	審議会からいただいた意見に基づいて事業内容を検討し、今後の文化財の保存と活用の取り組みに反映していく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 529

事務事業名称	埋蔵文化財発掘調査事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化財課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	非選択的事業		区分	非選択の事務事業	
事業期間	1971(S46)年度			年度	～	年度まで		
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例							
関係補助金名称						サンセット		～
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	埋蔵文化財調査の原因となる工事等を実施する事業者等(施主である市民も含む)						
	サブターゲット	地域を問わず全ての市民						
	ターゲットが抱える課題	天候等の事情で発掘調査の施行に遅れが生じると、土木工事の工期の遅れや負担費用の増加が生じる場合があり、また、そのような場合があることの周知が必要である。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	調査対象となる事業主等の遺跡保護に対する理解を得ながら、文化財保護法等の趣旨に基づき、手続きや発掘調査等を実施し、埋蔵文化財の確実な保護を図るとともに、その成果をまとめ、公表・公開され、活用が行われている状態。							
事業概要	文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の記録保存及び埋蔵文化財の周知の徹底を図るために、必要な措置の実施に努めている。埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等は、届出が義務付けられているため、事業者には「埋蔵文化財の発掘届出・通知書」の提出を求め、それまでの調査結果に基づき調査方法を決定し、事業者の協力を得ながら、必要に応じて試掘確認調査及び本発掘調査を実施し、その成果を概報・年報・報告書等で公表している。埋蔵文化財発掘調査及び埋蔵文化財発掘調査遺物復元整理作業については、平成29年度までは市直営及び(公財)枚方市文化財研究調査会への委託で実施していたが、同会の解散により、平成30年度から事業統合し、全て市直営で埋蔵文化財発掘調査事業として実施することになった。今後は、埋蔵文化財発掘調査の計画的で効率的な体制を構築し埋蔵文化財保護を推進するとともに、調査成果の公開の機会を増やすことで活用の充実を図る。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			埋蔵文化財が発掘され、その結果を取りまとめる。				必要となる手続きや、発掘確認調査及び本発掘調査を実施する。			
指標設定	指標説明		成果を取りまとめ、公表・公開した報告件数				発掘調査実施日数(延べ)			
			単位				単位			
			件				日			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		70	70	70	70	300	300	300	300
	実績		111	39	26	30	377	234	366	457
	達成度		43%				48%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.45
再任用	0.00
任期付職員	0.65
会計年度任用職員	4.52
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,231	14,109	14,555		
	会計年度任用職員	11,464	14,171	13,110		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	21,695	28,280	27,665		
歳入	物件費計	10,515	29,817	16,561	22,346	74.1%
	歳出計	32,210	58,097	44,226		
	国庫支出金	3,561	10,090	4,322	4,945	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,561	10,090	4,322	4,945	
一般財源（物件費に充当されるもの）		6,954	19,727	12,239	17,401	

5. 総括的分析

総括的分析	- 令和5年度の埋蔵文化財届出処理件数は657件であった。 - 現地にて調査・立会を行った件数 231件、内訳：試掘・発掘調査31件、工事立会200件
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	試掘・発掘調査及び工事立会の確実な履行を求めるため、連絡体制等の確立に努める。また、調査の成果を資料整備に反映させていく。突発的な発掘調査に備えるために、効率的な体制を整える。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 530

事務事業名称	枚方宿鍵屋資料館維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化財課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	内部事務		区分	一般内部管理事務	
事業期間	2001 (H13) 年度			年度	～	年度まで		
根拠法令等	地方自治法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例							
関係補助金名称					サンセット			～
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	(資料館 展示) 歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について関心が薄く、場所も分かりづらいため来館しづらい。						
	ターゲットが抱える課題	駐車場の確保						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人が、枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について理解を深めることのできる場所や機会として、広く周知された上、適切に提供されている。							
事業概要	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について広く啓発普及することにより、枚方の歴史に対する認識を深めるとともに、郷土愛を育てることを目的として、枚方宿鍵屋資料館指定管理業務として、①資料館の調査研究展示業務、②資料館の利用その他入場制限に関する業務、③利用料金に関する業務、④施設及び設備の維持管理に関する業務、⑤PR・企画業務、⑥その他業務を実施する。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						枚方宿鍵屋資料館が適性に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。					
指標設定	指標説明					計画的な修繕料・工事請負費に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額／当初予算額×100】				計画的な修繕・工事件数(指定管理事業含む)					
			単位	%			単位	件							
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100	100	100	100	1	3	1	1
		実績						48	56	90	81	7	14	6	7
達成度						81%				700%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.60
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,741	4,410	5,241		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,741	4,410	5,241		
歳入	物件費計	26,779	23,462	27,761	28,460	97.5%
	歳出計	30,520	27,872	33,002		
	国庫支出金	0	0	2,390	2,390	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	2,400	3,000	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	4,790	5,390	
一般財源（物件費に充当されるもの）		26,779	23,462	22,971	23,070	

5. 総括的分析

総括的分析	維持管理のために必要な施設保全・保守点検を行い、適正に維持管理を行っている。令和5年度は、老朽化していた門扉の更新工事を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	枚方宿や京街道、淀川舟運の歴史について広く普及啓発するため、枚方宿鍵屋資料館の維持管理事業を継続する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 709

事務事業名称	市指定文化財補助事業												
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業		区分	一般事務事業	
事業期間	1996 (H8) 年度		年度	～			年度まで
根拠法令等	枚方市文化財保護条例、枚方市補助金等交付規則(昭和40年枚方市規則第30号)						
関係補助金名称	文化財保護事業補助金			サンセット	2023 (R5) 年度	～	2025 (R7) 年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	市指定文化財等の所有者					
	サブターゲット	市指定文化財等の見学者等					
	ターゲットが抱える課題	自然災害等によって、突発的な市指定文化財等の毀損が生じることがある。					
	ターゲットが抱える課題	文化財の修復・維持管理には大きな経費がかかるため、経済的理由から文化財の滅失が余儀なくされる場合がある。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市文化財保存活用基金」活用も視野に入れ、市指定文化財等が市民共有の財産として後世に継承する一助となり、適切な保存がなされている状態。						
事業概要	市域に所在する文化財について、要綱の規程による補助対象事業に補助金を交付し、文化財の保護を支援する。 枚方市文化財保存事業補助金交付要綱では、市指定文化財に対し、有形文化財の修理及びこれらの物のための防災設備の設置、天然記念物の保護増殖、文化財の管理又は保存等を補助対象事業とする。文化財の管理又は保存には、建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付している。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市指定文化財等が市民共有の財産として後世に継承につながる。				市指定文化財等について、所有者による適切な保存管理の支援が図られる。				文化財保護事業補助金を交付する。				
指標設定	指標説明	翌年度に継承する市指定文化財等件数(補助対象)				補助事業の実施件数				補助金交付申請数				
	単位		件		単位		件		単位		件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
		実績	14	14	14	14	14	14	15	14	14	14	15	14
達成度		100%				100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,336	1,562	1,974		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,336	1,562	1,974		
	物件費計	340	504	340	340	100.0%
歳出計		1,676	2,066	2,314		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	82	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	82	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		340	422	340	340	

5. 総括的分析

総括的分析	- 交付申請の手続きの際に補助対象となる全件の市指定文化財の保存状況の確認を行った。問題なく保存しており、文化財を後世に継承できる状況である。 - 市指定文化財の廃渚院観音寺鐘楼・梵鐘など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物以外の有形文化財・民俗文化財及び記念物11件に交付した(340千円)。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市指定文化財の適切な保存管理が行われ、市の財産として継承されるように、引き続き補助金を交付していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 904

事務事業名称	文化財課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、枚方市教育委員会事務局事務分掌規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課内職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	年々事務量が増加しており、事務処理の効率化・平準化を進め、またやるべき業務の選別・整理が必要。			
	ターゲットが抱える課題	職員のモチベーションの維持			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課の事務事業が支障なく執り行われる環境の整備、人員体制、予算の確保等の実現				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)				目標				目標			
		実績				実績				実績			
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.21
再任用	0.00
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.26
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,421	11,999	10,031		
	会計年度任用職員	556	48	663		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,977	12,047	10,694		
歳入	物件費計	2,171	2,246	2,641	2,940	89.8%
	歳出計	17,148	14,293	13,335		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	90	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	152	73	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	90	0	152	73	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,081	2,246	2,489	2,867	

5. 総括的分析

総括的分析	費用対効果の観点から効率的に事務事業の執行を行っている。
-------	------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課の事務事業が支障なく執り行われる環境の整備、人員体制、予算の確保等の実現。